

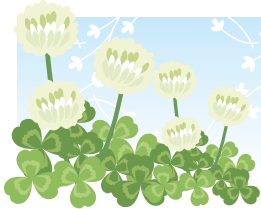
題字：石野 華鳳
(書家 小松市出身)

kansei hogo komaetsu nomi
更生保護

小松能美

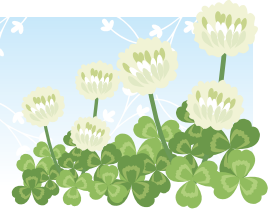
第20号

2026年(早春号)



「チーム更生保護」

会長 和田 慎司



2026冬季五輪・パラリンピックが開幕。チーム日本の青春パワーが伊国の空に日の丸を掲げ、君が代を響かせた。ケガや障がい・心の不調にくじけず困難を乗り越え、栄光に輝いた選手に心からの祝福を贈ります。露国侵略から5年目、ウクライナ選手の入場時には開催国以上に励ましの歓声が上がった。平和の祭典と言われるオリンピックの意義と価値を強く反映していると感じた。

イタリアといえばルネサンス。550年前の伝染病(ペスト)で混乱した社会復興と人間再生を目的に展開された。私たちが更生保護活動で過ちを犯した人のやり直しに寄り添い、聖火のように未来への明るい「再生の灯」になれるよう令和8年度も「チーム更生保護」「リ・スタート」を追求していきましょう。

本年の社明運動地区大会に俳優の宇梶剛士さんに記念講演をお願いしました。彼の波乱万丈の人生から青少年の育成や立ち直りを学びます。さらに小松市児童合唱団ハッピーメロディが歌で優しさを添えて下さいます。7月4日小松市民センターへのご参加をお待ちします。

特殊詐欺の被害はさらに多種多様になり、なりすまし詐欺では若年層被害が60%を超え、闇バイトの逮捕者では70%が10代20代だという辛い現実を直視しなくてははいけません。国政でも地方でも選挙で犯罪予防の公約を聞くことがないのが気がかり。サクラの時期は新入生新社会人がスタートする。彼らが人生において加害にも被害にも関わることがないように、地域挙げ強力な対策に取り組みしましょう。

令和7年度

石川県更生保護功労者顕彰式典受彰者



- 法務大臣感謝状 (社会を明るくする運動民間協力者)

チャリティ作家 東 孝太郎 (能美市)

- 全国保護司連盟理事長表彰

中田 毅・能邨 勇樹

- 中部地方更生保護委員会委員長表彰

梅田 利和・北原 華蓮

福田 緑・森本 栄史

- 中部地方更生保護委員会委員長感謝状

(更生保護事業推進協力者)

チャリティ作家 浮田 健剛 (小松市)

- 金沢保護観察所長表彰

荒木 達人・石川 和之

江畑いずみ・田中 洋栄

- 金沢保護観察所長感謝状

(社会を明るくする運動民間協力者)

山本 勇 (小松市)

阿部 正子 (能美市)

小西 明人 (能美市)

山崎 綾乃 (能美市)

- 石川県保護司会連合会会長表彰

廣見多介央

なお、山本 敏明 氏が長年にわたる保護司活動従事者として、令和7年春(令和7年4月29日)瑞宝双光章を受章されました。



特殊詐欺等の 撲滅に向けて

小松警察署長 竹田 勇

小松警察署長の竹田と申します。

小松能美保護司会の皆様には、平素から警察活動に対する格別の御理解、御協力を賜っており、深く感謝申し上げます。また、更生保護をはじめ、犯罪や非行のない明るい社会づくりに向けた様々な活動に御尽力いただいていることに対し、改めて敬意を表する次第です。

特殊詐欺等は、かつては高齢者が対象というイメージでしたが、近年はSNSの活用等、手口が多様化・巧妙化しており、世代や性別を問わず被害が拡大しております。特に、令和7年中は、全国で警察官をかたるオレオレ詐欺が猛威を振るい、被害件数、被害額共に過去最悪となりました。

当署では、特殊詐欺等の被害を1件でも減らすため、キャンペーンや公式SNS等を利用した広報啓発活動、犯人の検挙や犯行グループの実態解明に向けた捜査活動を強力に進めております。

特殊詐欺等の被害に遭わないためには、「自分は大丈夫」という思い込みを捨て、日頃からニュース等に関心を持ち、信頼できる情報に基づいて対策を取ることが重要です。具体的な対策としましては、犯人と皆様をつなぐのは「電話」ですので、

- 迷惑電話防止機能や留守番電話機能、ナンバーディスプレイ機能の活用
- 国際電話の停止手続き
- 防犯アプリのインストール

といった「犯人とつながらない」ことが効果的です。また、相手が警察官や子供・孫を名乗り、皆様の個人情報を知っていたとしても、不審な点があれば一呼吸置いて

- 一旦電話を切る
- その後、家族や警察に相談する

ことを徹底し、決して1人で悩まないでください。

当署では、引き続き皆様に安全・安心を実感していただけるよう、署員一丸となって治安維持に向けた活動に取り組んでまいりますので、今後とも御協力のほどお願い申し上げます。

結びに、小松能美保護司会の益々の御発展と皆様の御健勝を御祈念申し上げ、私からの御挨拶とさせていただきます。

※小松警察署長 竹田 勇氏は3月27日付けで異動になり、県警本部生活安全部長に着任されました。

集計期間：令和7年1月～12月

(出典：小松警察署 生活安全課)

令和7年	認知件数	検挙件数	
		件数	人員
刑法犯	547	199	111
非行少年			29
不良行為少年			170

非行少年…触法少年(14歳未満)を含む
不良行為少年…少年補導数

令和7年	認知件数	窃盗被害	
		無施錠 キー付き	割合
住宅対象	24	21	87.5%
車上ねらい	21	11	52.4%
自動車盗	1	0	0%
自転車盗	117	98	83.8%
万引き	67		

暫定値

特殊詐欺被害

令和7年	件数	被害額
オレオレ	11	84,800,000
預貯金	0	0
架空請求	26	29,100,000
還付金	1	1,000,000
その他	4	3,500,000
キャッシュカード詐欺盗	1	1,000,000
合計	43	119,500,000

被害額…1万円単位を四捨五入(内訳と合計が一致しない場合あり)

令和7年 特殊詐欺被害(小松警察署)

	65歳未満	(構成比)
件数	27	62.8%
被害額	84,300,000	70.5%
	65歳以上	(構成比)
件数	16	37.2%
被害額	35,100,000	29.5%

SNS型投資・ロマンス詐欺

令和7年	件数	被害額
投資詐欺	17	61,700,000
ロマンス詐欺	16	83,300,000
合計	33	145,000,000

被害額…1万円単位を四捨五入(内訳と合計が一致しない場合あり)

令和7年 SNS型投資・ロマンス詐欺被害(小松警察署)

	65歳未満	(構成比)
件数	19	57.6%
被害額	98,700,000	68.1%
	65歳以上	(構成比)
件数	14	42.4%
被害額	46,200,000	31.9%

更生保護特別講座

生成AI時代における保護司の役割

小松支部北分区 中野 佳代

生成AIという新しい技術が保護司の活動にどのような可能性をもたらすのかについて、分かりやすく丁寧にご講義いただき、生成AIを正しく使うことで、保護司の活動が大きく支えられることを学びました。AIは情報を調べるだけでなく、報告書作成の効率化や、人の気持ちを理解するための新たな視点を与えてくれます。また、より良い「声掛け」を考えるための役立つ存在になると感じました。

一方で、AIはあくまでも「道具」であり、示された情報をそのまま信じるのではなく、自分で考え、確認しながら活用する姿勢が大切です。AIには、実際の経験や人の心に寄り添う温かさはありません。だからこそ、知識だけでなく、これまでの実践の中で育まれてきた、人生経験と人間的資質がこれまで以上に重要になると実感しました。

今後は、AIの持つ時短や多角的な視点といった利点を上手に取り入れながら、人にしかできない心のこもった対話を大切に、更生に真摯に向き合っていきたいと思います。貴重な学びの機会をありがとうございました。



視察研修

視察研修に参加して

研修部会 江畑 いずみ

令和7年11月18日、今年度の視察研修では、金沢地方検察庁と金沢地方裁判所を訪問しました。検察庁では、組織の成り立ちや業務内容、さまざまな刑事手続きの流れについて詳しく説明を受け、取調室や面会室、勾留場所など、普段は目にする事のない場所を見学させていただきました。裁判所では実際の法廷を見学し、法廷内で貴重な体験をさせていただくことができました。なかなか立ち入ることのない場所で、司法の現場を身近に感じることができました。昼食は金沢茶屋で美味しい食事と懇談ができ、その後は国立工芸美術館や鈴木大拙館を散策しました。雨が降ったり止んだりの天候でしたが、晴れ間には美しい紅葉も楽しむことができ、学びと芸術の両方に触れる充実した一日となりました。



社会貢献活動

小松子ども医療福祉センターにて 車椅子の清掃

協力組織部会長 新川 賢

令和7年度の社会貢献活動として、11月10日、小松子ども医療福祉センターにて車椅子の清掃をした。前年度は対象者の参加がなかったが、今回は対象者3名に加え保護者1名の参加を得た(他に保護観察官1名と保護司12名参加)。

子どもの医療施設ということで緊張したが、玄関に入るなり職員の方から「おはようございます」との明るい声で迎えられた。作業の前に深田課長から施設の説明があり、実際の様子もを見せていただいた。障がいがありながらも懸命に生きている子たちと愛情をもって支えている職員の姿に胸を打たれた。

参加者皆、心を込めて車椅子をみがいた。対象者もまじめに取り組んでいた様子で、担当保護司のさりげない声掛けに答えていたのが印象的であった。終了後に職員の方から感謝の言葉をいただいたが、こちらこそ貴重な体験をさせていただき勉強になった。

この活動は対象者の参加と活動場所が大事であるが、子ども医療センターの方々の協力で充実した活動となった。関係者に感謝申し上げたい。



～彼女たちと向き合って～



能美支部 田中 洋栄

保護司となり六年目。先輩保護司と二人で、娘と同世代の女性二人の保護観察を担当し、現在は一人の方と向き合っています。彼女たちは想像もできない経験を乗り越え、日々どう生きるかを懸命に考えている、とてもしっかりした子たちです。

面談のたび、その深みのある考え方に驚かされます。彼女たちとの時間は、私にとっても新しい情報を教わり、共に成長できる癒しのひとときです。ただ以前、自分の跳ねた髪が気になり何度も触れてしまったことがありました。身なりを整えてやってくる彼女の繊細な感性を思えば、私ももっときちんとした心構えで向き合うべきだったと深く反省しました。

絵や服作りなど、彼女たちは素晴らしい美的センスを持っています。環境や過去のつまずきで才能が埋もれるのではなく、個性が受け入れられる社会になってほしい。そう願いつつ、これからも応援している人がそばにいと伝わるように活動していきたいです。



退任を迎えて



宮西 健吉 (令和7年10月19日付)

振り返れば私は平成15年10月20日、保護司を拝命いたしました。市議会議員の私が務まるのか。当時、保護司である北野議員に相談をする中で宮西さんなら大丈夫と二度三度言われ続け、決断し引き受けました。

最初の4~5年は未成年の対象者を4人ほど引き受けましたが、対象者と会う日時の変更を再三しなければならず、対象者に大変迷惑をかけました。私では無理があると思い、小松支部北分区長、小松能美保護区の会長さんに退任の申し入れをしましたが、強く慰留されました。おかげで保護司として22年間務めることができました。先輩保護司のサポート・指導に感謝し、保護司のみなさんにも感謝し、お礼を申し上げます。

私の生業 (なりわい)



小松支部 北分区
南 知子

現在3期目の県議会議員であります。日々皆様の声を聴き、その声を県に届けることが私の仕事であります。先日まで県議会118人目の副議長を務めさせていただきました。女性でなかったら気づけない事、女性しか出来ない事も多くあり、女性ならではの観点・視点で様々な課題に取り組みました。中でも私は特に思春期健診の制度化について取り組みました。生理が来たらまずかかりつけ婦人科医を持つという習慣は欧米では普通のことであり、女性の体を若いうちからケアするシステムの事です。婦人科系の疾患には、初期段階では自覚症状が出にくく、気付かないうちに進行してしまう場合があります。1歳半健診や3歳児健診のように、思春期健診についても、自己負担なくすべての女性に受診してもらえるような仕組みづくりに取り組みます。昨年完成した動物愛護センターに伴い、動物愛護基金も立ち上げることが出来ました。愛犬7匹飼っている私の1丁目1番地は、次のステップに移りました。

退任にあたり



山本 敏明 (令和7年10月19日付)

保護司を委嘱されて26年、担当した対象者は16歳から65歳までの20余名でした。対象者に寄り添い傾聴しながら更生を支援し1日も早い立ち直りを願って来ましたが、令和7年10月19日付を以って退任いたしました。

私は福祉の仕事に従事して来ましたので、更生保護と社会福祉との連携が大事だと常日頃思ってきました。対象者の多くは過去の過ちに気付き、不安を夢や希望に変えようと努力されている姿に寄り添い、あせらず共に歩むことに心がけてきました。今日まで対象者との出会いで多くのことを学び福祉に生かすことができ感謝です。また平成17年に庶務を担当させていただき、北川会長、北野会長、溪会長のもとでご指導をいただいたこと、「更生保護こまつ60周年近10年の歩」の編纂やサポートセンター、ホームページの開設等に係らせていただき貴重な経験をさせていただきました。皆様から今日までのご指導ご鞭撻に感謝申し上げます。皆様から今日までのご指導ご鞭撻に感謝申し上げます。退任のご挨拶といたします。

新任あいさつ



小松支部中分区 鵜川 瞬也

この度、保護司として活動させていただくこととなりました。これまで保護司会の活動については詳しく知らず、その役割についても十分な理解がありませんでした。そうした中、日頃から信頼し、地域活動に真摯に取り組まれている先輩保護司の近さんからお声がけをいただき、制度や活動内容についてお話を伺う機会を得ました。その中で、更生を目指す人を地域全体で支えるという保護司の役割の重要性を知り、自分もその一助になりたいと考えるようになったことが、入会のきっかけです。

日常生活では、地域の伝統文化である曳山子供歌舞伎に携わるほか、地元商店街のにぎわい創出を目的としたマーケットイベントの企画・運営に取り組んでいます。今後は、こうした経験を生かし、対象者一人ひとりに誠実に向き合い、更生と社会復帰を支える保護司として責任を持って活動してまいります。

教育現場からの声



石川県立
小松高等学校長
馬場 智子

小松能美保護区保護司会の皆様には、更生保護活動をはじめとして、犯罪や非行のない社会づくりのためにご尽力いただき感謝申し上げます。

世の中の価値観が多様化する現代社会では、個人の自由が尊重される一方で、文化的な背景や世代間の考え方の違いにより、共通の規範意識をもつことが難しくなっています。そのような中、犯罪や他害行為をした人の再犯・再被害を防止し、その改善更生・社会復帰を支援するとともに、人が人を支える地域のネットワークを広げ、安心・安全な地域社会、そして、「誰一人取り残さない」共生社会の実現を目指すという更生保護の組織理念は、学校教育においても通じるものがあります。

学校では、多様な背景を持つ子供一人ひとりのニーズに対応し、それぞれの状況に応じた学びや支援を行うことで、子供が安心して学び、成長できる「誰一人取り残さない」教育の実現を目指しています。子供たちは日々の学校生活の中で、失敗をしながら、学び成長します。それは、学習だけでなく人間関係の構築においてもいえることです。多様な価値観が共存するこれからの時代を生きていくためには、他者との関わりやコミュニケーションの仕方を学びつつ、自分のことも大切にしながら、折り合いをつける力を身につけてほしいと考えています。

未来を担う子供たちが、「社会を明るくする運動」の啓発キャンペーンに参加することには大きな意味があります。犯罪や非行のない地域社会を築くために、自分たちが社会の一員として何ができるかを考える機会となり、更生保護への理解を深めることにつながります。皆様の活動によってつくられる安心・安全な明るい地域社会の中で、子供たちが健やかに成長していくことを願っております。

編集後記

春が訪れ柔らかな日差しが心地よい季節となりました。新年度に入ると、ピッカピカの一年生が好きな色のランドセルを背負い集団登校に加わります。〇〇ちゃんは何色のランドセルかな?と楽しみにしているところです。この子供たちを安全で安心な地域社会の中で温かく見守っていきたいです。

今年も夏に開催される「社会を明るくする運動」のイベントに参画し、更生を支える輪を広げるために皆さんとともに協力したいと思います。〔任田〕

小松支部だより

小松地区更生保護女性会地区研修会(毎年開催)が11月6日小松商工会議所でありました。小松支部から8名の保護司が参加。今回は加賀地方史研究会会長の竹下一郎氏の「小松監獄の話」でした。小松更女会は、昭和51年から毎年8月5日に小松市営墓地内にある獄死者の墓の清掃と慰霊をされており、今年度から当保護司会も活動に参加させていただいています。そんな関係で「小松監獄」について学ぶために参考資料となったのが加賀地方史研究会から出された図書だったそうです。

小松市に刑務所があったという歴史(小松城の取壊しのために旧三ノ丸跡地に)や、「赤い着物に白い襟の罪人たち」という漢詩が残されている話、石川県小松監獄となり明治初期から31年に亘り北陸地方で最大規模だったことなどを知ることができました。保護司としても有意義な研修会となりました。〔片村 裕〕

能美支部だより

令和7年度も能美支部の機関誌「能美更生保護53号」を、能美警察署長様、管内教育関係者の皆さま、更生保護女性会の皆さま、保護司の方々にご寄稿いただき、12月に発刊することができました。お忙しい中時間を割いて原稿を作成していただき感謝申し上げます。機関誌は、行政や教育関係機関、更生保護関係者に500部が配布され、犯罪や再犯予防、青少年の健全育成に役立つものと思っています。また、寄稿していただいた皆様の更生保護に対する思いや経験談が綴られています。

今年に入り、2月3日には、昨年に続いて能美支部の自主研修を開催しました。日ごろの保護観察における面接場所の確保や面接の際の対応などについて意見を交換しました。いろいろご苦勞されていることや粘り強く保護観察に向き合っている様子が目に浮かびました。また、引き続き保護司として活動されるよう再任予定の保護司さんにはお願いしました。その後は、新たな年を迎えての初めての集まりでもあり、懇親会を開催し互いの親睦を深めることができました。〔南 裕子〕



※お問い合わせ 事務局

TEL0761-46-5105 FAX0761-46-5108

E-mail hogoshikai@aquaplala.or.jp

URL <http://hogoshikai.org>

発行日 令和8年3月25日

発行 小松能美保護区保護司会 広報部会

印刷 マルト株式会社



この印刷物は
Scope1、2のCO₂排出量
を実質ゼロとした工場で
印刷されています。